

心理学域報告 (2013. 4. 1~2013. 9. 30)

I 人事異動

2013年4月1日

相川 充 教授 就任 [東京学芸大学]
 綾部 早穂 教授 昇任
 沢宮 容子 教授 就任 [立正大学]

2013年4月16日

Constantine Pavlides 教授 就任 [The Rockefeller University]

2013年5月16日

安藤 智子 教授 昇任

II 学域構成員 (2013年9月30日現在)

		研 究 領 域								
		実 験	教育・認知		産業・社会		発 達		臨床・相談	
教 授		綾部 早穂	原田 悦子	相川 充	安藤 智子	石隈 利紀				
		一谷 幸男	茂呂 雄二	岡田 昌毅	大川 一郎	沢宮 容子				
		小川 園子		松井 豊	櫻井 茂男	藤生 英行				
	Constantine Pavlides				濱口 佳和					
准 教 授		加藤 克紀	外山 美樹	湯川進太郎	佐藤 有耕	青木佐奈枝				
		山田 一夫				杉江 征				
講 師						望月 聡				
助 教				藤 桂	島田 直子	田附あえか				
						寺島 瞳				
						中岡 千幸				
特任助教	永田 知代			川上 直秋	大島 由之	藤里 紘子				

Ⅲ 心理学域教員指導論文題目一覧

1. 2012年度 博士論文

(1) 課程博士

氏名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
伊藤真利子	項目選択による記憶再生の促進メカニズム	綾部 早穂
遠藤 寛子	怒りの維持過程の解明と筆記開示による低減効果に関する検討	湯川進太郎
西村多久磨	中学生における学習動機づけが学業成績と精神的健康に与える影響	櫻井 茂男
ヒューマン・ケア科学専攻		
伊里 綾子	抑うつ傾向と情報処理過程におけるバイアスの関連	青木佐奈枝
設楽紗英子	ワーク・エンゲイジメントの規定因と後続事象に関する研究 —個人的要因と組織的要因からの検討	濱口 佳和
藤原 健志	青年期における聴くスキルの研究	濱口 佳和
感性認知脳科学専攻		
佐野 一広	Role of estrogen receptor α in the regulation of male-type social behavior in mice.	小川 園子
生涯発達科学専攻		
伊藤まゆみ	終末期ケア学習における看護学生の心的衝撃への心理教育的支援に関する研究	小玉 正博
工藤 浩二	自己分化度假説による高校生のネガティブライフイベント脆弱性の検討	藤生 英行
堀内 泰利	キャリア自律のプロセスと影響要因に関する研究	岡田 昌毅

2. 2012年度 修士論文

(1) 人間総合科学研究科

氏名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
安東 結実	複数のソーシャルメディア使用に関する質的検討	茂呂 雄二
関 那積	表出者の無表情に対する観察者の認知	綾部 早穂
高橋真知子	恋愛によって生じる変化の検討 —片思いから恋人関係継続中に焦点を当てて—	松井 豊
平野 美沙	マインドフルネスによる怒り低減効果に関する研究	湯川進太郎
堀部 勇気	チョイス・ブラインドネスのメカニズムの検討 —対象認識における空間優位性に着目して—	外山 美樹

宮代こずゑ	単語の意味と表現型の印象一致度が潜在記憶に及ぼす影響	原田 悦子
陳 晶晶	児童・生徒の希望構造	茂呂 雄二
Polong Lin	Global and local processing in Westerners and the Japanese: A comparison using hierarchical figures in a directed and divided attention task.	原田 悦子
劉 音	在日中華系留学生における異文化適応の促進要因について	服部 環

心理専攻 心理臨床コース

市川 玲子	パーソナリティ障害傾向と自己認知・対人認知の諸様態の特徴との関連	望月 聡
臼倉 瞳	小・中学生における対象別評価懸念と適応との関連	濱口 佳和
金網 祐香	攻撃行動に対する中学生の道徳的判断 一判断に影響を与える要因および道徳的感情との関連から一	濱口 佳和
輕部 雄輝	大学生の就職活動における活動維持モデルの検討 一不採用経験時の心理的プロセスに注目して一	杉江 征
高川 悠	ワーク・ファミリー・エンリッチメントの構成要素と 関連要因に関する研究 一ワーク・ファミリー・バランスの観点から一	濱口 佳和
辻 睦美	入眠困難時の認知的対処と実際の睡眠との関連	杉江 征
仁平 知里	自伝的記憶の重要度と記憶の想起および語りの関連についての検討	濱口 佳和

感性認知脳科学専攻

石川 潤子	ラットの匂い刺激を手がかりとした恐怖条件づけ： D-Cycloserine が消去の般化に及ぼす影響	山田 一夫
上野 一樹	ラットの恐怖条件づけの消去における条件づけ一消去および消去一 テストインターバルの効果	山田 一夫
興津 隆雄	マウスの奥行き知覚における大きさ手がかりの役割	加藤 克紀
門脇 良太	近交系マウスの前肢選好に対する環境の影響	加藤 克紀
永田 知代	Anxiety-related behavior in male mice selectively bred for aggression	小川 園子
佐越 祥子	マウスの社会的探索行動の制御に果たすオキシトシン受容体の役割	小川 園子
嶋山 太一	ラットの放射状迷路における時間的順序記憶の研究： 保持時間の効果と神経伝達物質受容体拮抗薬の効果	一谷 幸男
村田 唯	Role of estrogen receptor β in the regulations of anxiety-related behavior in female mice	小川 園子

生涯発達専攻 カウンセリングコース

五十嵐寿子	高校生のアタッチメント・スタイルは感情制御と 精神的健康に影響を与えるか	安藤 智子
石塚あけみ	中年期世代は、実母に対してどのような感情を抱いているのか	大川 一郎
御手洗尚樹	企業スポーツが従業員に及ぼす心理的影響について	松井 豊
伊藤なおみ	転校前の適応状況と転校後の課題への取り組みが 児童の成長や適応に及ぼす影響	石隈 利紀
榎本 尚子	母親への怒りがゆるしへと変化するプロセスに関する検討 一アルコール依存症の家族を対象として一	大川 一郎
大野美佐子	専門学校の授業でのふり返りとフィードバックが 学生の授業の意味づけに与える影響	石隈 利紀

小川水菜子	子育て中の女性の対人ライフイベントと自己調整との関係	藤生 英行
小倉 千尋	臨床心理士による電話相談の特性に関する研究	安藤 智子
小倉由香里	メンタルヘルス支援活動が産業看護職に及ぼす心理的影響とその要因	松井 豊
勝野 美江	農業体験学習の効果に関する要因について —児童及び教師に焦点を当てて—	藤生 英行
彼谷 直子	調停人はどのように調停の場に関わるか —調停人の理念と葛藤及び成長に関する考察—	岡田 昌毅
木田 俊哉	不本意な異動への対応が主体的な生き方に与える影響	安藤 智子
鯨井 清美	生後2～4ヵ月児の泣きに対する母親の困惑が 子どもへの共感と育児感情に与える影響	安藤 智子
兒玉 裕巳	1 次的学習観尺度の開発と関連要因の検討 —自助資源・援助資源との関連を中心に—	石隈 利紀
小林進一郎	職場における上司への報告・相談とその影響要因	松井 豊
五味こずえ	高機能自閉症スペクトラム児をもつ親の精神的健康	田中 輝美
酒井 早苗	上司からの育成行動を期待する要因と上司への働きかけ —部下自身の能力向上のために—	岡田 昌毅
菅 優一郎	職業キャリア意識が仕事への活力とキャリア適応力に及ぼす影響	岡田 昌毅
野本 可奈	勤労者の仕事態度がワーカホリックに及ぼす影響についての検討 —完全主義とワーカホリックとの関係に基づいて—	大川 一郎
間嶋 健	重症脳卒中で急性期病院に入院した患者家族の転院に至るまでの 心理プロセスに関する研究	大川 一郎
丸田美穂子	大学生の就職活動における選択傾向と価値観による職業選択基準との関係	田中 輝美
山口 真平	精神科看護師の惨事ストレスの実態とその心理的影響	松井 豊

(2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏名	論文題目	指導教員
折笠 紀恵	攻撃行動の多い中学生に及ぼす学校ストレスの影響	櫻井 茂男
韓 東哲	中国の大学における学級心理委員制度に関する研究	茂呂 雄二

3. 2012年度 人間学群心理学類 卒業論文

氏名	論文題目	指導教員
安藤 史織	音がニオイの印象に及ぼす影響 —刺激の提示タイミングおよび刺激の質的検討—	綾部 早穂
上野 安耶	「温かい」ニオイが人物印象や行動に及ぼす影響 —会話課題と歩行課題を用いた検討—	綾部 早穂
佐々木沙希恵	音楽鑑賞における言語情報の影響	綾部 早穂
萩原 康太	大音量の音楽は時の流れを変化させる	綾部 早穂
本間 郁江	よりふわふわな触り心地にするには？ —見た目、香り、接触時間の観点から—	綾部 早穂
大垣 翔子	放射状迷路行動におけるラットの指示性忘却： 忘却手がかり提示タイミングの効果	一谷 幸男
富澤 優美	新生仔期母仔分離ストレスが発達期における 脳内オキシトシン受容体の発現に及ぼす影響	小川 園子
森谷 太一	近交系マウスにおける幾何図形の大きさ弁別に関する検討	加藤 克紀

和田 幸志	マウスの採餌行動における社会的影響	加藤 克紀
東郷 航平	マウスの移動活動における空間の広さと形の影響	加藤 克紀
千手禪二郎	社会的隔離飼育ラットの放射状迷路学習に及ぼす tickling の効果	山田 一夫
丹下 結子	競技時の目標志向性および心理技法とフロー体験との関連についての検討	外山 美樹
西島 聡美	対人拒絶場面での受容期待と対処行動に影響を及ぼす要因についての検討	外山 美樹
六本木達矢	一自尊感情と原因帰属に注目して一 ポジティブ感情の拡張・形成理論における拡張効果のメカニズムについて 一自己知識の表象を指標として一	外山 美樹
玉津今日子	確認的因子分析において離散変数を連続変数とみなすことの統計的問題点	服部 環
戸木田 祥	探索的因子分析において識別性の問題を発生させる変量の同定 一尤度比統計量に注目して一	服部 環
岡田 美鳥	ひらがな一漢字の表記形態の違いが潜在記憶に及ぼす影響 一視覚・聴覚モダリティ間の比較を通して一	原田 悦子
伴野 友美	新奇なモノへの適応における認知プロセスと加齢 一高齢者内比較を加えた検討一	原田 悦子
山口 一大	Groton 迷路学習課題におけるエラーレス学習・エラーフル学習： 学習過程の若年成人一高齢者群間比較による検討	原田 悦子
後安 隆志	高齢者の社会活動について	茂呂 雄二
中村 聖	iPad 教室の参加者と実施者のかかわりと学習について	茂呂 雄二
藤巻 貴仁	大学生における商品レビューの印象評価に影響する要因	茂呂 雄二
渡邊 真心	上司に「期待される」ことへの感情がその後の行動に及ぼす影響 一企業で働く職業人を対象として一	岡田 昌毅
清水 葉央	高齢者における情報通信機器利用の促進・阻害要因の検討 一周囲との関わりに着目して一	藤 桂
芹澤 礼秀	Twitter を介した性格判断一書き手・読み手間の評定の比較を通して一	藤 桂
諸我 友美	東日本大震災における被災地支援活動継続の規定因	松井 豊
松崎 彩夏	東日本大震災後の肯定的な心理変化一行動的側面に着目して一	松井 豊
金井 雅仁	笑いがストレスフルな状況への認知的評価に及ぼす影響	湯川進太郎
下江加奈子	空間行動とパーソナリティとの関連 一地理的プロファイリングを応用したなわばり測定の試み一	湯川進太郎
六瀬 貴大	知人の存在と集団凝集性が新人成員の受容に及ぼす影響	湯川進太郎
堀川 朋子	Posttraumatic growth を生起させる要因の検討 一省察と意味付けに着目して一	青木佐奈枝
坂岡 紫苑	懐しい記憶の想起が気分に及ぼす影響	杉江 征
雪田 彩子	ストレス過程における自己分化度とコーピングとの関係の検討	藤生 英行
片貝 友美	心配性傾向が情動喚起語への注意に及ぼす影響 一情動 Go/No-Go 課題を用いて一	望月 聡
川井麻里子	対人印象形成における声的魅力とパーソナリティとの関連	望月 聡
熊谷 美雪	心理的構えが表情認知に及ぼす影響について 一事象関連電位を用いた検討一	望月 聡
長澤 美幸	対人不安傾向・パーソナリティ特性と心理的距離の関連	望月 聡
笹子 碧	関係固有のアタッチメントが不安に及ぼす影響の検討	安藤 智子
櫻井 暢	母親・父親間の愛情関係が子育てに及ぼす影響について	安藤 智子
鈴木 裕道	近親者との死別経験による心理的变化に関する検討 一故人との継続する絆に着目して一	大川 一郎
佐藤 隆正	向社会的行動における主観的コスト・ベネフィット認知と行動後の 自己評価との関連一被援助者からのフィードバックの受け止めと 関連するパーソナリティ特性による差異の検討一	櫻井 茂男

田場 亮耶	大学生における友人・恋人選択とアタッチメントスタイルの関連	櫻井 茂男
大谷 真弥	他者受容的な「好き」に至るまでの3段階	佐藤 有耕
山本 彩未	大学進学のための進路選択活動と大学での学習状況との関連	佐藤 有耕
錦織 雅道	回想された親子関係と青年期におけるアパシー傾向の関連 一親密な他者との関係を加えて一	佐藤 有耕
山田 壮馬	高校生の自立的就職選択動機とその内在化要因の検討	濱口 佳和
斎藤 優子	家庭環境が女子大学生の仕事と結婚・育児の両立志向に及ぼす影響	濱口 佳和
菅谷 祐里	中学生における完全主義と帰属スタイル及び心理的不適応の関連	濱口 佳和
根岸恵里奈	仮想的有能感4類型別に見た現実・ インターネット上における居場所、対人関係の感じ方の違い	濱口 佳和

IV 2012年度各種表彰など

氏名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名(掲載誌), または受賞理由
心理学域		
○青木佐奈枝	平成24年度第22回日本心理臨床学会学会奨励賞 (日本心理臨床学会, 2012年9月)	青木佐奈枝(2004). 行動化の多い境界性人格障害女性の面接過程 心理臨床学研究, 21, 575-585. 青木佐奈枝(2005). ロールシャッハに見られる解離の諸特徴 心理臨床学研究, 23, 25-37. 青木佐奈枝(2009). ロールシャッハ・テストに見られる心的外傷性の解離 心理臨床学研究, 27, 129-139.
○小川 園子	2012年度 Best Faculty Member (筑波大学, 2013年3月)	筑波大学の大学教員業績評価により、極めて優れた研究活動を行った教員として、学長表彰を受けた。
○藤 桂	平成24年度日本認知科学会第29回大会発表賞 (日本認知科学学会, 2013年3月)	藤 桂・佐藤広英・河原純一郎・永井聖剛(2012). 潜在的な快感情の喚起による視覚情報処理範囲の拡大 (Implicit positive affect induction broadens scope of visual processing) 日本認知科学会第29回大会発表論文集, 138-141
心理学専攻		
○遠藤 寛子	平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞 (筑波大学, 2013年3月)	怒りの維持過程の解明と筆記開示による低減効果に関する検討, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文
○小川 緑	国際会議等参加旅費補助金 (日本心理学会, 2012年6月)	Liking for odor mixture is effected by pre-exposure to its component. The 16th International Symposium on Olfaction and Taste, 187
○中野 詩織	平成24年度(第46次)研究助成 (財団法人 吉田秀雄記念事業財団, 2012年4月)	中野詩織「香りの印象伝達に有効な言語的表現の検討」が採択され, 研究助成金50万円を受領した。
○高田 琢弘	2012年度研究助成 (NPO 法人依存学推進協議会, 2013年3月)	高田琢弘「新たなギャンブル課題の開発とその妥当性の検討」が採択され, 研究助成金20万円を受領した。

- 高田 琢弘 Student Conference Scholarship (Asia Pacific Association for Gambling Studies, 2012年11月) Effects of unrelated arousal on reckless gambling behavior. the First Asia Pacific Conference on Gambling & Commercial Gaming Research
- 西村多久磨 平成24年度茗溪賞 (筑波大学, 2013年3月) 公立小・中学校の研修会講師及び学級のスーパーバイズ, 学級経営のコンサルテーション, 野田市教育委員会研究指定・学校人権教育への貢献が, 本表彰に相応しいと評価されたため
- 渡辺 伸子 日本パーソナリティ心理学会第21回大会優秀大会発表賞 (日本パーソナリティ心理学会, 2012年10月) 渡辺伸子 (2012). お金に関する行動が他者に与える影響 日本パーソナリティ心理学会第21回大会発表論文集, 161.
- 兪 善英 国際学会シンポジウム企画補助金 (日本社会心理学会, 2012年11月) Inhibiting Disclosure About Stress and Post-Traumatic Stress Symptoms Resulting from the Great East Japan Earthquake. The 28th annual meeting of the International Society for Traumatic Stress Studies (ISTSS), #1291, LA, USA.
- 兪 善英 筑波大学・シェフィールド大学研究交流 (派遣) (筑波大学, 2013年2月) ストレス開示抑制態度の文化差に関する研究

ヒューマン・ケア科学専攻

- 藤原 健志 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻長賞 (筑波大学, 2013年3月) 青年期における聴くスキルの研究, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻博士論文

感性認知脳科学専攻

- 佐野 一広 筑波大学 平成24年度 研究基盤支援プログラム, Aタイプ 若手研究者研究奨励費 (筑波大学, 2012年7月) 佐野一広「思春期のステロイドホルモンが雄マウスの社会行動発達に及ぼす影響とその神経基盤」が採択され, 研究助成金50万円を受領した。
- 佐野 一広 筑波大学人間総合科学研究科 TF 優秀賞 (筑波大学大学院人間総合科学研究科, 2013年2月) 感性認知脳科学専攻開設科目「English Journal Club」の講義内容が優秀であると認められ, 受賞した。
- 佐野 一広 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞 (筑波大学, 2013年3月) Role of estrogen receptor α in the regulation of male-type social behavior in mice., 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻博士論文
- 興津 隆雄 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻長賞 (筑波大学, 2013年3月) マウスの奥行き知覚における大きさ手がかりの役割, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻修士論文

- 佐越 祥子 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻長賞
(筑波大学, 2013年3月) マウスの社会的探索行動の制御に果たすオキシトシン受容体の役割, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻修士論文

生涯発達科学専攻

- 工藤 浩二 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2013年3月) 自己分化度假説による高校生のネガティブライフイベント脆弱性の検討, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文
- 堀内 泰利 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻長賞
(筑波大学, 2013年3月) キャリア自律のプロセスと影響要因に関する研究, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文

心理専攻

- 市川 玲子 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 2012年8月) An examination of the relationship between self-esteem about interpersonal relationship and other-esteem — Using partial correlation analyses — 2012 Shanghai International Conference on Social Science, 58
- 上條菜美子 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2012年7月) Athlete's satisfaction with a competition: Regulatory focus theory and competitive anxiety. The 2nd Annual International Conference on Cognitive and Behavioral Psychology (CBP 2013), 98
- 高橋真知子 国際会議等参加旅費補助金
(日本心理学会, 但し辞退) Changes Caused by Romantic Love among Japanese University Students. The Asian Conference on Psychology & the Behavioral Sciences
- 宮田 千聖 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2013年2月) Psychopathic traits and phenomenal characteristics of autobiographical memories. The 2nd Annual International Conference on Cognitive and Behavioral Psychology (CBP 2013), 76-77.
- 金網 祐香 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2013年3月) 攻撃行動に対する中学生の道徳的判断—判断に影響を与える要因および道徳的感情との関連から—, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
- 平野 美沙 平成24年度茗溪賞
(筑波大学, 2013年3月) 筑波大学附属高校にて主に受験を控えた3年生を対象に「マインドフルネス瞑想の紹介とその実践応用(ストレス対処法)」に関する講習の実施が, 本表彰に相応しいと評価されたため
- 平野 美沙 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
(筑波大学, 2013年3月) マインドフルネスによる怒り低減効果に関する研究, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文

生涯発達専攻 カウンセリングコース

- 榎本 尚子 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞
(筑波大学, 2013年3月) 母親への怒りがゆるしへと変化するプロセスに関する検討—アルコール依存症の家族を対象として—, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文
- 勝野 美江 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞
(筑波大学, 2013年3月) 農業体験学習の効果に関係する要因について—児童及び教師に焦点を当てて—, 平成24年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文
- 彼谷 直子 平成24年度茗溪会賞
(筑波大学, 2013年3月) 司法書士としての職業を持ちながら, 東京家庭裁判所の調停委員を務めた。また, これまでに多数の調停を実施しており, それを生かした精力的な研究活動は社会的波及効果が高く, 本表彰に相応しいと評価されたため

心理学類

- 金井 雅仁 大学院生等を対象とした海外派遣に伴う旅費支援
(筑波大学, 2013年2月) Examination on auditory stimuli as a manipulator of emotion. The 2nd Annual International Conference on Cognitive and Behavioral Psychology (CBP 2013), 161-163, 2013.
- 富澤 優美 平成24年度筑波大学人間学群長賞
(筑波大学, 2013年3月) 修学・教育活動, 課外活動において優秀な成績を収めた学生として表彰を受けた